

課題名：選果施設を中心としたキュウリとナスの産地強化（課題１）

（対象：中部農業事務所普及指導課）

【評価できる点】

- (1) 技術指導は評価できる。生産者の思いをうけとめ試行錯誤しながら収量向上を図り、環境技術に取り組んでいる姿勢が伺える。
- (2) 既存の施設を最大限活用するための方策が適宜とられている。粗選別は全体の選果効率を高めるために必要だと思われる。
- (3) LINE の活用やオンラインでの意見交換会の実施など活動手法を工夫されている。
- (4) キュウリの 10a 当たりの収量が増加したのはとても良い。

【改善・強化に向けた検討事項（意見・要望と対応策）】

1 課題や目標設定に関すること

◆意見・要望

- (1) 選果場の効率は、どの程度増産受け入れが可能かの試算をしないと、増産しても受け入れができなければ、根本的な課題解決にならないと思う。
- (2) 選果場の処理能力を向上させる手段は、選果場の作業手順や作業方法等、他にも要因はあるかと思われる。
- (3) 選果施設の活用について、粗選別による効率化を進めることで、農業者にどのようなメリットがあるのかが不明。

2 活動内容に関すること

◆意見・要望

- (1) 管内農業者数に対して勉強会等の参加者が少なすぎる。より多くの農業者を取り込まないと、活動が衰える可能性がある。
- (2) 若手農業者や新規就農者に対する支援を強化していただきたい。

課題名：集落営農法人等の体質強化（課題２）

（中部農業事務所普及指導課）

【評価できる点】

- (1) 取り組んでいる課題は普及指導課で対応するには大きすぎると思われるが、限られた人員・時間の中でよく努力されている。
- (2) 地域の農業を担う集落営農法人を支援し、体質強化を図ることは良いと思う。
- (3) 中部管内の集落営農法人の課題を把握し、高収益作物への転換や拡大を計り、機械の共同利用等の法人間連携を進めているなど評価できる。
- (4) 高齢化等による担い手不足や高収益化にとって法人等の運営体質を強化することはとても良いと思われる。今後も積極的に支援を行ってください。

【改善・強化に向けた検討事項（意見・要望と対応策）】

1 課題や目標設定に関すること

◆意見・要望

- (1) 到達目標の各項目、主な支援事項と解決方法、活動経過などの関係がわかりづらく、課題や目標設定などを整理した方が良い。
- (2) スマート農業技術は、今後の農業の担い手不足や効率化の為に必須であると思うが、経営安定に有効なのか考察も必要。

2 活動内容に関すること

◆意見・要望

- (1) 組織へのアンケートで一番多かった課題である、「担い手確保」に対する具体的な支援策も、打ち出した方が良い
- (2) 集落営農法人運営支援は、個々の法人の体質強化につながる支援を実施してください。

課題名：地域の特性を活かした農業の活性化（課題３）

（渋川地区農業指導センター）

【評価できる点】

- (1) 渋川の農業の現状が明確に示され、抱える課題や課題解決のための手法もよく考えられている。会議・分科会を設け検討を重ね活性化が図れるよう努力が伺える。
- (2) レシピリーフレットが良い工夫と考える。観光地にコンニャクなどの鉢植えを置くアイデアも良い。
- (3) SNS の活用や温泉旅館を巻き込んだ情報発信は高く評価できる。
- (4) 地域の特徴を活かした農業の活性化、ニューノーマルに対応した地域農業振興は大切なことであり、そこに着目した課題設定は評価できる。

【改善・強化に向けた検討事項（意見・要望と対応策）】

1 課題や目標設定に関すること

◆意見・要望

- (1) 協議会運営は支援していると言うより、指導センターが主体となっていると思うので、協議会の中での調整が必要。
- (2) 活動において、農業者があまり表に出ていない感じを受けた。解決方法等に農業者の動きが見える項目を入れても良かった。
- (3) 到達目標の各項目、主な支援事項と解決方法、活動経過などの関係がわかりづらく、課題や目標設定などを整理した方が良い。

2 活動内容に関すること

◆意見・要望

- (1) 今後の対応について協議会の組織のあり方に終始しており、より具体的な農業活性化策を打ち出した方が良い。
- (2) 関係機関と連携を図り確実に課題解決を進めてほしい。

課題名：地域で輝く担い手の確保・育成（課題４）

（渋川地区農業指導センター）

【評価できる点】

- (1) 担い手の確保・育成は、喫緊の課題であり、課題設定についても明確であり、評価できる。
- (2) 令和４年１月に「渋川農業担い手支援協議会」を設立したことで、今後の展開に期待したい。
- (3) 渋川農業担い手支援協議会は、各団体の役割分担が決められていて評価できる。
- (4) 新規就農者だけでなく、若手女性農業者や認定農業者の確保や育成も並行して実施している点が良かった。

【改善・強化に向けた検討事項（意見・要望と対応策）】

１ 課題や目標設定に関すること

◆意見・要望

- (1) 渋川農業担い手支援協議会には、就農者への具体的な支援をお願いしたい。
- (2) 就農者が「やりたい」農業を支援することも大切だが、「儲かる」農業となるよう指導することも必要。

２ 活動内容に関すること

◆意見・要望

- (1) 支援協議会ができたことで、新規就農者への支援が厚くなったことは良いが、新規希望者確保のための活動が報告からはあまり見えてこなかった。
- (2) 認定農業者はメリットを明確化できなければ、確保は難しいと考える。

課題名：地域農業を支える多様な担い手の確保・育成（課題５）

（対象：伊勢崎地区農業指導センター）

【評価できる点】

- (1) 新規就農者に対する支援がしっかりできている。令和３年度は全ての目標を達成し活動の成果が現れている。
- (2) 課題・目標の設定が的確であり、目標にあった活動を行っており高く評価できる。プレゼンシートのまとめ方も良く説明も明確であり、全体を通して評価できる。
- (3) 問題を提起し目標を立てて組織ぐるみで、生産、品質のUPにつながる努力をしていることが評価できる。
- (4) ワンストップ窓口は、就農希望者の立場に寄り添った良い取組である。

【改善・強化に向けた検討事項（意見・要望）】

1 課題や目標設定に関すること

◆意見・要望

- (1) 新規就農者が多様化していることで、就農相談で求められる知識や人材也多岐にわたると思うが、柔軟に対応してほしい。
- (2) 家族経営協定は、数年に一度内容の再確認をした方がよい。

2 活動内容に関すること

◆意見・要望

- (1) 就農希望者に対するワンストップ窓口の担当者が、どの程度相談に対応できるかが大切。関係機関などとの連携や相談窓口担当者のスキルアップを行ってほしい。
- (2) 集落営農法人への支援は、より加速化が必要ではないか。
- (3) 女性農業者のリーダー育成では、仲間づくりで得られる魅力よりも、組織活動に消極的な若い人をどう巻き込んでいくかが課題だと思う。

課題名：選果場を核とした野菜産地の強化（課題6）

（伊勢崎地区農業指導センター）

【評価できる点】

- (1) 産地の課題に対し、現状把握がしっかり行われており、支援事項と解決手法が的確。到達目標や活動経過、今後の課題と対応策なども明確。
- (2) 支援が多岐にわたって複合的に展開している。野菜産地強化のための支援として、「技術」「生産振興」「担い手」を柱にした活動を行っている。
- (3) 産地ビジョンはきちんと戦略が練られている。「道しるべの共有」という視点により、農業者、関係機関が同じ目標に向かって進んでいる。
- (4) 露地ナスの新規栽培者数は顕著な成果が得られている。さらに、露地ナスから別の作物へのステップアップなどロードマップが示されている点が評価できる。

【改善・強化に向けた検討事項（意見・要望と対応策）】

1 課題や目標設定に関すること

◆意見・要望

- (1) 新規就農者が毎年 20 名以上であること、ナス・キュウリへ転換する農業者数を考えると、より高い目標設定ができるのではないか。
- (2) 新規栽培者数＝新規就農者でよいか、また担い手がどのくらい増加したのか不明。半促成ナス研修者が、生産者全体から考えると少なく感じる。

2 活動内容に関すること

◆意見・要望

- (1) 選果場利用で各戸の収量や収入が、どれだけ変わったのかを明示できれば、なお良いと思う。
- (2) 燃料や資材の高騰が進んでおり、さらに営農の効率化が求められる。

今後の対応方策

課題 1. 選果施設を中心としたキュウリとナスの産地強化

(対象：中部農業事務所普及指導課)

- 1 選果施設の出荷量増加に向け、選果効率を向上させるための取り組みを進めます。
- 2 栽培経験の少ない農業者等に対する支援は継続しつつ、勉強会の取り組みと産地全体への技術普及等について取り組みます。

課題 2. 集落営農法人等の体質強化

(対象：中部農業事務所普及指導課)

- 1 集落営農法人等の成果指標に対する活動指標等はわかりやすい表現に整理します。
- 2 スマート農業技術の導入は、集落営農組織の経営状況の確認や導入時の費用対効果を見定めたうえで、導入を支援していきます。
- 3 集落営農法人等の担い手確保は、関係機関で連携し、地域の農業を活性化できる担い手の掘り起こしを進めていきます。
- 4 集落営農法人の体質強化では、高収益作物の導入や耕畜連携の取組を進め、地域全体の活性化を検討していきます。

課題 3. 地域の特性を活かした農業の活性化

(対象：渋川地区農業指導センター)

- 1 次年度は、各分科会の活動を見直し、農業者の生産活動を支援する形になるよう検討していきます。
- 2 次期3か年計画作成にあたり、地域振興作物の推進など農業者への直接支援を課題とするとともに、活性化協議会をとおして市町村・JAとの連携を進めます。

課題 4. 地域で輝く担い手の確保・育成

(対象： 渋川地区農業指導センター)

- 1 渋川農業担い手支援協議会で受入れから定着まで支援できるよう、運営や体制

整備について支援していきます。

課題5. 地域農業を支える多様な担い手の確保・育成

(対象：伊勢崎地区農業指導センター)

- 1 家族経営協定の再確認については、関係機関との担当者会議においてその方法について検討し、締結に向けた支援を行っていきます。
- 2 女性農業者のリーダー育成では、関係機関と連携を図り、若手を含めた女性農業者へ各講座の情報提供を継続的に行うことで、意見交換の場を広げるよう検討していきます。

課題6. 選果場を核とした野菜産地の強化

(対象：伊勢崎地区農業指導センター)

- 1 担い手対策の目標値については関係機関と連携し、引き続き検討したいと考えています。今後も新規講座等を通じ早期の技術習得を積極的に推進します。
- 2 選果場を核とした野菜産地の強化については、今後も道しるべになる「産地ビジョン」を作成し現場の課題を把握しながら、普及計画に反映したいと考えています。